

令和3年度 第10回富里市教育委員会定例会議 会議録

富里市教育委員会

- 1 期 日 令和3年12月21日(火)
開会 午後2時
閉会 午後3時46分
- 2 場 所 富里市役所本庁舎3階第3会議室
- 3 出席委員 教 育 長 吉 野 光 好
教育長職務代理者 森 田 恵 子
委 員 會 田 直 子
委 員 田 口 明
委 員 川 口 泰 弘
- 4 出席職員 教 育 部 長 金 杉 章 子
教 育 総 務 課 長 中 津 義 孝
参事兼学校教育課長 鳥 海 雅 弘
学校給食センター所長 伊 藤 健 一
学 校 教 育 課 石 橋 保 昭
学 校 教 育 課 小 川 正 久
学 校 教 育 課 新 井 潤 一 郎
生涯学習課長 飯 田 之 義
図 書 館 長 越 川 義 幸
- 5 事務局職員 教 育 総 務 課 大 木 達 也

令和4年1月25日

署 名 人

署 名 人

会議録作成人

1 開会宣言

【教育長】ただいまから令和3年度第10回富里市教育委員会定例会議を開会いたします。

本日の会議は、専決処分の報告1件、協議事項1件、報告事項6件、その他の内容となります。

また報告事項3については富里市教育委員会会議規則第10条第1項第5号の規定、会議を公開することにより教育行政の公正又は円滑な運営に著しい支障を生ずるおそれのある事項となりますので、非公開としたいと思います。御異議ございますでしょうか。

(異議ない旨の声あり)

【教育長】異議ないものと認め、協議事項3については非公開とすることといたします。なお、そのほかの案件については、公開となりますので、よろしく願いいたします。

2 前回会議録の承認

令和3年度第9回定例会議録承認

(署名人：田口委員、川口委員)

3 教育長職務報告

【教育長】まず初めに、教育長報告を行います。1ページを御覧ください。前回第9回の定例会以降の行事でございます。20日の土曜日、来年度4月から実施を予定しております学校運営協議会の説明会を行いました。意見としては、地域に学識経験者も多くいることから委員として検討してほしいという御意見をいただいております。翌21日の日曜日には来年度4月以降の開設を予定しております、富里市観光・交流拠点の末廣農場の起工式に出席いたしました。翌22日の月曜日には12月市議会定例会に伴う定例記者会見に出席しました。午後には第7回の富里市校長会議に出席しております。浩養小学校で実施しております。25日の木曜日には富里小学校に北総教育事務所の指導室訪問がございました。翌26日、12月市議会定例会開会日でございます。12月1日、2日、3日と一般質問が行われております。7日に文教厚生常任委員会、14日の火曜日に議案すべてを可決し閉会となっております。一般質問では8名の質問者が登壇しましたが、6名の方から質問を受けています。スイカロードレースの関係、GIGAスクールの進捗、いじめの問題、岩崎末廣別邸の関係、自転車の安全対策等がございました。11月27日には、皆様にも御出席いただきました、令和3年度二十歳を祝う会がご

ございました。12月12日、日曜日には印旛地区の青少年相談員の方たちの主催による、印旛地区少年の日、地域のつどい大会が、坂田ヶ池総合公園でございました。コロナ禍のなかで各市町5名程度の人数で、クイズ、ウォークラリーを実施しております。15日には、第6回の魅力ある図書館事業プロジェクト会議がございました。後ほど報告があらうかと思えます。そして本日の会議でございます。今後の予定でございますが、23日に全国の市町村教育委員会協議会の会議がございまして、オンライン会議で実施予定でございます。年が変わりまして、1月4日には仕事始め式、9日には感染症対策をした上で、令和4年富里市成人式を実施したいと考えております。11日には第4回の印旛地区教育長会議がございました。25日には第11回富里市教育委員会定例会議を予定しております。以上、教育長報告でございます。

4 教育委員報告

【教育長】次に、教育委員報告に移ります。何かございましたらお願いいたします。

【委員】私が出席した事項を報告いたします。11月18日令和3年度富里市学校教育研究会公開研究会が、多数の先生方が御参加される中、富里中学校で開催されました。学習内容は「道徳科の指導案」、研究主題は「基礎基本の定着と知識を活かした学習の深まり、ICTの充実を目指して」、道徳科の努力点は、「生徒が自然に発見し、考え、授業に工夫」です。初めに2年5組の見学をしました。主題名は「法や決まりの意味」、教材名「違反摘発」。授業の内容は父の危篤の連絡で、高速道路をスピード違反で摘発を受け、臨終に間に合わず、法や決まりがなければいいと思ったことはないだろうかという問いに対して、生徒にタブレットで答えてもらう授業でした。結果は半数以上が、スピード違反してもしょうがないと答えていました。そのあと意見交換の場が用意され、反対意見の人は、他人に迷惑をかける、危ないと答えていました。自分がその立場に立ったらどうするか、考えさせられる教材でした。次に1年6組の授業を見学しました。主題「感謝の心を持つ」、教材名は「もったいない」です。「もったいない」が世界でも通用する言葉だということを知りました。以上です。

【教育長】ありがとうございました。そのほかにもございますでしょうか。

【委員】私からは同じく11月18日、富里第一小学校を会場に行われました公開研究会、生活科・総合的な学習の授業の参観報告をさせていただきます。1年生の生活科、3年生、6年生の総合的な学習の時間とい

うことで、1年生は秋の自然物、どんぐり、松ぼっくり、紅葉、枯れ枝など、それから紙コップ、割りばしなどを利用して作ったおもちゃを、さらにレベルアップしてみようというのが題材でした。すでに前段からの続きでグループは形成されていましたが、授業前半のレベルアップのための話し合いでは各グループの個性が出ていました。リーダーが引っ張っているグループ、みんなでワイワイガヤガヤとするグループ、なかなか話が進まず静まり返っているグループなど、個性が結構際立っていましたが、レベルアップ目標も出そろい、各おもちゃのレベルアップ、改良の作業にかかるのは、みな嬉々として元気よくやっていると感じました。また先生もグループ間を歩き回り、ほめたり、児童が解決に悩んでいそうな点に気付けるような質問をしたり、積極さ、興味、疑問を引き出す会話がよいと思いました。また、一定の時間で一区切りをして、目標に関する自己評価を行い、自分たちの進み具合の成果を自覚させ次の段階へ進めていく進行のうまさも心地よく感じました。また使用する工作道具への安全面の指導、児童たち自身の安全への気付きにも配慮されていたと感じました。3年生、6年生は時間の都合上、授業時間の半分ずつしか見られませんでした。3年生は第一小学校の天神谷津の自然について地元の方のインタビュービデオを用いて、臨場感のある場が再現できていて、児童たちの反応の経過が途中までしか見られなかったのが残念です。6年生は卒業制作というテーマに基づき、前段の授業の流れから集めた情報の集約、整理分類、ここに集めた情報の共通性に基づき情報のグループ化、区別を行い、さらに大きなグループ化を行い卒業制作というテーマの理解、制作を行う方向付けの段階だったのではないかと理解しました。児童にも今どのような手順で意見、情報をまとめているのか聞いてみたところ、手順よく説明してくれました。このような情報の処理手順について十分理解、納得しているなど感じました。ただ今回の授業ではタブレットは使用されていませんでした。タブレット使用の習熟度がどの程度なのか把握できていませんが、今回のような情報の共有、分類、体系化には適しているのではとも感じました。また反面、頭の中に描いている情報、意見を具体的に文字に起こすということ、自分で書いて理解するという点で、手書きしてみることも重要と思えました。文字を覚える、体系的な文章を書くための手書き、情報処理の迅速化による、より多くの情報の取得のためのタブレットPCの利用の兼ね合い、それぞれの利点の活用については今後も大いに検討、発達させていかなければと感じました。

【教育長】ありがとうございます。そのほかにもございますでしょうか。

【委員】私も11月18日、日吉台小学校で行われた学校教育研究会公開研究会に〇〇委員と出席しました。日吉台小学校では、「表現力を向上させる活動を通して、筋道を立てた考えることができる児童の育成」を研究主題とし、算数科の授業が展開されました。コロナ禍で様々な活動が制限され、子どもたちの様子はどんなだろうと心配していたのですが、授業を参観しての第一印象は、どの子どもとても集中しているということでした。自分なりの考えを持ち、課題を解決しようと一生懸命に取り組んでいる姿を見ることができ、安心しました。どの学年も身近な教材を工夫したり、タブレットや大型テレビ、実物投影機などの教具を効果的に活用していました。また、ペア学習、グループ学習、全体での学び合いというように「学びの場」を設定し、子どもたちが自分の考えを持ち、伝えあうことができるよう学習形態も工夫されていました。特に印象に残っているのが、4年生と6年生の全体での学び合いでは、グループで話し合った結果や、タブレット上にまとめた考えを即座に大型テレビ画面に映し出し、話し合いに活かしていました。とても効率的で視覚的で発表者の考えがわかりやすく、お互いの考えを比較検討し深めることに適していると思いました。どの学年も目標に向かって、確かな歩みを続けてきていると感じました。こうした研究の成果を市内の小中学校でも共有し、日々の実践に役立ててほしいと思いました。

【教育長】ありがとうございました。そのほかにはございますか。

【委員】新型コロナウイルスの感染症の感染拡大に伴い、1月から延期になっていた成人式でしたが、「二十歳を祝う会」と名前を変え11月27日に開催されました。中止という選択をする他市町が多い中で、開催にこぎつけたのは、富里市長や多くの成人者の「中止にたくない」という熱い思いによるものと思います。成人として式に参加した息子も「延期になって不安だったが、富里を意識する良い機会になった。友達に会えたことがうれしかった。」と話していました。延期の決断や連絡、感染症対策はさらに大変だったはずですが、保護者という立場からは、開催してくれた富里市に感謝の気持ちを持ちました。娘の晴れ姿を嬉しそうに見ているたくさんの保護者の姿から、私と同じ思いの方は多かったと感じます。来月、次の成人式が行われます。無事開催されることを願っています。

【教育長】ありがとうございました。そのほかにはございますか。

(ない旨の声あり)

【教育長】ほかにはないので、教育委員報告を終わります。

5 専決処分の報告

【教育長】次に、専決処分の報告に移ります。報告第1号、行事の後援について事務局の説明を求めます。

【生涯学習課長】2ページをお願いいたします。報告第1号、専決処分の報告について御説明いたします。富里市教育委員会行政組織規則第12条の規定により、行事の後援について下記のとおり専決処分をしましたので、報告をさせていただきます。行事名は、上手な子供の叱り方講座。主催者は一般社団法人日本パーソナルコミュニケーション協会。期日につきましては令和4年1月14日、金曜日となっております。以下記載のとおりでございます。説明は以上です。

【教育長】事務局の説明が終わりました。御質問等あればお願いします。
(ない旨の声あり)

【教育長】特にないようですので、専決処分の報告を終わりにいたします。

6 協議事項

【教育長】次に、富里市学校運営協議会に係る条例等の改正について、事務局の説明をお願いします。

【参事兼学校教育課長】資料の3ページをお願いいたします。令和4年度コミュニティ・スクール導入にあたり、現行の学校評議員制度から富里市学校運営協議会制度に変更するため、条例等の所要の改正について協議するものでございます。4ページを御覧ください。まず、条例関係でございますが、特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例中の学校評議員と書かれている部分を、学校運営協議会委員に改正するものです。報酬額は学校評議員と同額の1万円としております。報酬額につきましては県からの情報、実施自治体を参考にして決定するものです。定例の会議は年3回を想定しているため、年額報酬としております。次に5ページでございます。富里市立小学校及び中学校管理規則でございますが、第10条の学校評議員の条文について削除し、一部改正を行うものです。また、富里市学校評議員の委嘱等に関する規則は全部廃止するものです。最後になりますが、新規に富里市学校運営協議会の設置等に関する規則を制定するものです。規則では、学校運営協議会の設置に係る内容を定めるものです。6ページから9ページが規則の案でございます。第2条では、各学校に協議会を置くものとしておりますが、2校以上で一つの協議会を置くこともできるとしております。本市では富里北中学区がこれに当たります。第4条では委員数を10人以内としており、2校以上の協議会では14人以内としております。県か

らの指導では15人以内で、学校規模に応じての対応ということになっていきますので適正な数であると考えております。第5条では、委員となる地域住民について対象学校の保護者や、学校運営に資する活動を行うものとして青少年相談員や地域の活動を行っている方や企業などを想定しております。その他、学校長や教員も委員となるものです。任期は2年としております。その他会長副会長の選任などについて定めるものです。規則については以上です。コミュニティ・スクール導入には以上の条例等の改正が必要となることから、規則の原案、報酬額等について協議を行うものです。よろしくお願いたします。なお、今後の予定でございますが、議案としての準備を行うとともに、条例につきましては3月議会での議案上程を予定しております。以上でございます。

【教育長】事務局の説明が終わりました。質疑等がございましたらお願いたします。

【委員】学校運営協議会のメンバーの選出状況はいかがででしょうか。

【参事兼学校教育課長】メンバーにつきましては、現在の段階で候補となる方を挙げていただいている、各学校ではほぼこの方にお願しようかという方を選任いただいています。前回のコミュニティ・スクールの説明会につきましても、候補者となっている方を中心にお招きして、説明させていただきました。ただ、学校事情等によって途中何名か変わることも想定しておりますが、今のところは学校で選んでいただいた方、候補者がおりますので、きちんと制度として整ったあと、委員会から任命という形をとっていきたいと考えております。以上でございます。

【委員】任命はいつ頃になるのですか。

【参事兼学校教育課長】規則が決まってからになります。時期的には4月の早い時期に決めて、第1回目の校長の方針について検討するというのがすぐになりますので、できるだけ4月の早い時期、スタートした時点で任命の手続きができるように考えております。

【教育長】教育委員会が任命するということになっていきますので、3月議会で制定がされれば、4月の早い段階で、臨時の委員会を開催することになるかもしれません。まだ決まってはいませんが、お含みおきをいただければと思います。その他に何かございますか。

【委員】条例のことではないのですが、学校運営協議会の委員の構成について、先日候補者を見て今までの評議員の方ですとか、PTAの本部役員の方たちのお名前がありました。運営協議委員とPTA活動とうまく両立していけるのかが心配なところですね。それぞれの活動がどのように

進んでいくのか、私としては見えていないもので、その辺は大丈夫でしょうか。

【参事兼学校教育課長】 両立していくのが難しいのではということですが、先行している事例を見ますと、たいてい協議会の中にPTA会長さんが入っていらっしゃる人が多いです。その理由というのが、前も御説明したかもしれませんが、学校運営協議会は学校運営に参画する権利を持っています。それは校長の方針に対して承認するということで、いろいろ意見を言うことができる。ただ、意見を言うていく中では、第三者的に言うわけではなくて、やはり主体者として学校を良くしていく意見を言っていただく。そこでPTAの会長さんなどに参加していただいて、そこで決まったことを協議会のメンバーとしてその話を受けて、PTAに持って帰っていただいて、より具体的な方策を実施していただく。ただ日ごろの活動をしていただくだけではなく、協議会で決まったことをPTAに降ろしていただいて、PTAとして何ができるのか考えていただくという形、あくまでも理想なのですが、そういう形を求めてやっていきたいと考えております。以上です。

【委員】 学校評議員では、あまりにも長くやっている方がいたので、任期が2年以内として、何年までやっていいかというのは決める必要があると思うのですが。

【参事兼学校教育課長】 御指摘のとおり、長すぎるかなという方もいらっしゃるって、地域の実情もあるとは思いますが。一応、任期2年で再任も可能となっております。スタート時は評議員と協議会の違いが判らないような運営になってしまうかと思いますが、いろいろ経験値を積んでいく中で、運営協議会自体がもっと良くなるための活動をと、舵を切って進んでいってくれば、メンバーもどんどん入れ替わっていくのではないかなと。運営協議会の活動が活発になっていけば、自然とそこに集まって来て下さるメンバーも変わっていくと期待しています。御指摘のような状況になったような場合は、規則の改正も含めて検討していきたいと考えております。以上です。

【委員】 PTAもルール上、加入は任意ということですが、実際に学校の行事に関してはほぼ半強制に近い形で入ってもらっています。PTAの役員の方も参加していただくということで、全員とはいかないですがより多数の、就学児がいない家庭の方も関連してくると思うので、より地域での学校運営ということに展開していくような方向で進めていただけたらと思います。

【教育長】 他にございますか。

(特にない旨の声あり)

【教育長】 ないようですので、御意見を参考に進めてまいりたいと思います。また、決定については今後ということになりますのでよろしく願いします。

7 報告事項

【教育長】 次に、報告事項に入ります。報告事項1、新型コロナウイルス感染症対策について、事務局の説明をお願いします。

【教育総務課長】 市内における新型コロナウイルス感染者の発生状況でございますが11月15日の前回定例会議では累計で826例の感染者が確認されていることを御報告いたしました。11月24日に827例目の感染者が確認された以降、現在まで感染は確認されておりません。

11月中の感染者は1人で、10月に比較しまして2人の減となりました。以上でございます。

【教育長】 事務局の説明が終わりました。質疑などがございましたらお願いします。

(ない旨の声あり)

【教育長】 ないようですので、報告事項1を終わりにします。

次に、報告事項2、令和4年度富里市立幼稚園児数について、事務局の説明をお願いします。

【参事兼学校教育課長】 資料の10ページを御覧ください。(1) 令和4年度富里市立幼稚園児願書受付状況でございますが、浩養幼稚園では募集人員は4歳児25名、5歳児9名。それに対し願書の受付数は4歳児13名、5歳児0名。願書の変更受付は4歳児、5歳児ともございませんでした。富里幼稚園では募集人員は4歳児70名、5歳児37名。それに対し願書の受付数は4歳児25名、5歳児0名。願書の変更受付は4歳児、5歳児ともございませんでした。(2) 令和4年度富里市立幼稚園児の予定者数についてでございますが、浩養幼稚園では募集人員は4歳児25名、5歳児9名に対し入園予定者数は4歳児13名、5歳児0名でございます。富里幼稚園では、募集人員は4歳児70名、5歳児37名に対し入園予定者数は4歳児25名、5歳児0名でございます。公立幼稚園の入園予定者数は合計で38名となります。昨年度の報告時と比較し、9名増加となっております。(3) 令和4年度富里市立幼稚園児予定数・学級数についてでございますが、浩養幼稚園は4歳児1学級、5歳児1学級、富里幼稚園は4歳児1学級、5歳児1学級でございます。学級数につきましては富里幼稚園の5歳児が2学級から1学級へ

と減になります。昨年度の報告時と比較しますと、浩養幼稚園が24名の予定で11名の増加となり、富里幼稚園は昨年度の入園が少なかった影響で、48名の予定で21名の減少となります。11ページは富里市立認定こども園入園児数となりますので参考までに御覧いただければと思います。公立幼稚園の現状でございますが、令和4年度は末広幼稚園が認定こども園になるなど、新しい施設ができてきており、公立幼稚園をとりまく状況も変化してきております。園児数の増減など、このほかにも様々な要因が関係していると思われませんが、今後も子育て支援課と連携しながら状況把握に努めてまいります。以上でございます。

【教育長】 ただいま事務局の説明が終わりましたが、質疑などがございましたらお願いします。

【委員】 浩養幼稚園も富里幼稚園も募集人員に対して、入園予定者が少なくなっている印象を強く持ちました。やはり保育料の無償化によって特色ある幼稚園ですとか、私立の幼稚園に流れてしまっているということもあると思いますが、富里幼稚園ですと以前は4学級あったのが2学級に減ってしまって、教室も空いてしまっている状況だと思います。そうした時に私立が行っている3歳児からの受け入れは市としては考えているのでしょうか。3歳児の待機児童がどれだけいるのかわかりませんが、3歳児の受け入れも考えた方がいいのではと思います。

【参事兼学校教育課長】 御意見いただいたように、幼稚園の入園者数がだいぶ減ってきているというのがあります。3歳児の受け入れをしていないというのも一つの要因だと思いますし、ニーズに合っていないのかもしれないかもしれません。認定こども園は幼稚園と保育園両方の機能を持たせて、共働きの家庭でもそこに預ければ、幼稚園と同じ教育を受けながらそれ以外の時間は保育園と同じ保育してくれるということです。共働きの家庭が増えてきておりますので、夏休みの期間に受け入れを行っていない幼稚園は保護者の方の選択肢から外れてしまうことがあります。実際に調べてみないとわかりませんが、ニーズにマッチしていないと存在の意味がございませんので、そういったことも含めて今後検討していくべき問題だと認識しております。

【教育長】 そのほかにもございますでしょうか。

(ない旨の声あり)

【教育長】 特にないようですので、報告事項2を終わりにいたします。

次の報告事項3は非公開案件となりますので、報告事項4、令和4年富里市成人式について、事務局の説明をお願いします。

【生涯学習課長】資料の12ページをお願いいたします。令和4年富里市成人式の開催について御説明させていただきます。令和4年の成人式につきましては令和4年1月9日、日曜日に開催ということで、委員の皆様は御案内差し上げているところでございます。先ほど〇〇委員から、令和3年の成人式に代わる「二十歳を祝う会」の御報告がありました。令和3年成人式は2回にわたり延期をさせていただきましたが、現在の新型コロナウイルスの感染状況を踏まえた中で、令和4年1月の成人式につきましては、ほぼ例年どおりの内容で開催できるものと考えているところでございます。対象の新成人につきましては、今のところ528名となっております。例年7割程度の方が出席いただいております。来賓、恩師の方を含めまして400名程度になろうかと思っております。12月1日から新型コロナウイルスの感染が落ち着いたということで、市内の公共施設の受け入れの体制も通常どおりとなっております。これまで公民館につきましても50パーセントの入場制限がございましたが、通常どおり100パーセント定員での利用が可能となっております。従いまして成人式については例年どおり1部制で実施していきたいと考えております。当日は、御出席いただきまして新成人を祝っていただければと考えております。以上です。

【教育長】事務局の説明が終わりました。質疑等があればお願いします。
(特にない旨の声あり)

【教育長】特にないようですので、報告事項4を終わりにします。次に報告事項5、魅力ある市立図書館の今後の在り方について、事務局の説明をお願いします。

【図書館長】魅力ある市立図書館の今後の在り方についての御報告でございます。12月7日に行われました市議会の文教厚生常任委員会において、前回定例会議に資料でお出しいたしました、図書館の今後の在り方についてを報告させていただきました。その際、3名の委員よりご意見、御質問がございました。まず、現在利用されている市民の年齢としては高齢の方が多く、今後は子どもたちをターゲットにしていくことは重要と思う。若い年齢層の意見を確認し検討してもらいたいという意見。また、今後、複合施設としてしっかりとした方向性を持って取り組んでいただきたいという意見。図書館は、もともと生涯学習センターとして検討されていた施設である。今後、複合施設としてしっかりとした方向性を持ち、市民の利用がなされるよう、名称なども含めよく検討されたいという内容でした。今後、複合施設として内容をしっかりと検討し、方向性を持って進めていきたいと考えております。その際には、教育委員

の皆様には御報告または御意見をいただき、さらに3月の市議会への報告を行い、令和4年度に向け進めてまいりたいと考えております。以上です。

【教育長】ただいま、事務局の説明が終わりました。質疑等ございましたらお願いします。

(特にない旨の声あり)

【教育長】特にないようですので、報告事項5を終わりにします。

次に報告事項6、月例報告について、教育総務課長から順にお願いします。

【教育総務課長】資料は13ページからとなります。教育総務課の12月の月例報告については、記載のとおりとなります。明けて1月25日に教育委員会定例会を予定しております。よろしくお願いします。

【参事兼学校教育課長】学校教育課です。12月16日に日吉台小学校を会場に第6回校長会議を行っております。ここでは定例の内容にプラスして冬休みを迎えるにあたって教職員の不祥事の防止、特にSNSのやり取りについての指導を徹底するようにしております。2つ目として、卒業証書授与でどこまで制限を緩めていくのかについて、校長から意見を集めました。様々な意見が出ていまして、今現在落ち着いていますが、3か月先のことなので、なかなか難しいということで、話を聞いた上で一定の線を示して、全体として決めていこうということで進んでいます。3つ目として、11月に残菜から残食率を取り入れたということで、残食の状況について校長に説明をしています。現在、11月中に残食率であるとか欠食の状況など、様々な側面から調査して、今後、子どもたちの健康を考えた残食率の低下の取組ということで、学校教育課、給食センターで検討しているところでございます。今現在決まっていることについて、教育委員の皆様には御説明したように、1月から本格的に取組をスタートしていきますが、内容について担当の指導主事から説明をさせていただきます。

【新井指導主事】富里市の残食率について、これから取り組んでまいりたいと思います。お手元の資料を御覧ください。富里市の児童・生徒を肥満と生活習慣病から守る取組ということで、給食を通して栄養バランスのとれた食生活の習慣付けを行うことを目的としております。先月11月に児童・生徒の残食の状況を把握するために、各種の調査を実施しました。初めに残食率の調査でございます。11月は小学校の平均が12パーセント、中学校の平均が9パーセントでございました。次に各献立と残食率の関係を調査しました。結果としましては、カレー、ハヤシラ

イスなどの御飯にかけるメニューにつきましては人気があり、残食率が低くなりました。また、児童・生徒が日ごろから食べ慣れているメニューについては残食率が低くなっています。一方で魚の苦手な生徒が多く、残食率が高くなっています。また、野菜については調理方法により、残食率に違いが見られました。今後、食の経験を広げることや、栄養のバランスを考え、栄養教諭は様々なメニューを考案しています。他市と比較しても、手の込んだメニューが多数ありますが、その努力にもかかわらず日ごろから食べ慣れていると思われるメニューの方が、残食率が低いという結果が出ています。続きまして、児童・生徒にアンケートを実施しました。資料の3枚目を御覧ください。対象とした学校は、七栄小、浩養小、富里中、富里北中です。浩養小と富里北中は10月までの残菜率調査で残食が少なかった、逆に七栄小と富里中は残食率が高かった学校ということで調査をいたしました。給食の量について多いか、少ないかという質問では、6割ほどの児童・生徒が適当であると回答しています。一方、3割の生徒は多い、やや多いと回答していました。食の細かい児童・生徒が少しでも残さず食べられるように、今後、配食を工夫する必要があると考えます。食べ残しが多い理由としましては、嫌いな食材が提供されているからと回答した児童・生徒が全体で30パーセントを超えています。今後、この課題を解決するために調理方法や味付けにより、食べ残しを減らせるのではないかと考えます。4枚目を御覧ください。続きまして、給食観察の結果から、先ほどアンケートを実施しました4つの学校に、実際に給食の様子を参観させていただきました。その結果から、喫食時間の短い学校がいくつかございました。今後は配膳時間を短くすることが大切であると考えます。教師が個別の量を判断し、児童・生徒に指示を出すことも必要だと考えます。また、配食後に食缶に残っているならば、教師が児童・生徒に再配食したり、一口でも食べるように励ましたりすることも、大切であると考えます。5枚目を御覧ください。(4)学校ごとの残食率の比較からということで、同じ学区でも残食率に違いが見られます。例えば北中学校区では日吉台小が10パーセントを超えていますが、北中では0パーセントでした。逆に南中学校区では、小学校よりも南中学校の方が残食率が高くなっています。これは教師の声掛けですとか、配食時の働きかけに違いがあるからだと考えています。続きまして、残食率を下げることの方策でございます。まず配食については、配食の時間をできるだけ短くする工夫を行えば、喫食時間が確保され残食率を下げられるのではないかと考えます。配食の際、教師が配食量を調整したり、食べる前に食缶に残ったものを、足りないと感じ

じている生徒に教師が再配食すれば、残食率を下げられるのではないか。喫食についてです。児童・生徒の食の状況を把握し、好き嫌が多い児童・生徒に対しては、量を調整するとともに、健康のために一口でも食べるように励ます働きかけをしていけば、残食率を下げられるのではないか。続きまして、調理についてです。食の経験を広げることや、栄養バランスを考え、栄養教諭は様々なメニューを考案しています。しかし、日ごろ食べ慣れていると思われるメニューの方が、残食率が低いという実態があるため、子どもが食べられている調理方法や、味付けを行えば残食率が下げられるのではないか。食育の視点で申し上げますと、栄養教諭が計画的に指導を行っておりますが、新たに自分の健康のために食べるということを目的とした生活習慣病予防と、食の關係に特化したプログラムを実施すれば、残食率を下げられるのではないかと考えております。これから、この仮説検証のための計画といたしまして、給食センターと学校教育課が協力し合い、それぞれの役割に応じた計画を作成し、実行してまいります。1月から本格的な取組をスタートさせますが、3月の残食率を一つの数値目標とさせていただき、小学校では8パーセント、中学校では6パーセントの目標を設定させていただきます。これから学校教育課としましても、各学校に現状の周知をしっかりと行い、残食率を減らす取組を提案し、実施していきたいと考えております。説明は以上です。

【学校協給食センター所長】 11月末現在の学校給食費徴収状況について報告いたします。資料の16ページでございます。全体の徴収率につきましては97.75パーセントでございます。前年同期と比較しまして0.10ポイントの増となっております。なお、学校によりましては大きく減少しているところもありますので、未納が増えないよう対応してまいりたいと考えております。なお今月は先月に引き続き、徴収率の向上対策として現年度未納分を対象として、電話催告を実施しているところでございます。また、催告だけではなく、新型コロナウイルスの影響による所得の減少などにより、納付が困難な方については就学援助制度についてお知らせするなど対応を行ってまいります。徴収状況については以上でございます。続いて学校給食学校別残菜率の11月末現在の状況について報告いたします。資料の17ページをお願いいたします。先ほど説明がありましたが、残食率を併記しましたので参考にさせていただければと思います。残食率は出席した人数分の提供量に対する、食べられずに残された食材の割合でございます。当日欠席などにより給食が残る分について除くもので、実質の残菜となるものでございます。各小学

校、各中学校の残菜率、残食率は資料のとおりでございます。全体の残菜率は18.08パーセントでございます。また、全体の残食率は13.52パーセントでございます。残菜率、残食率の報告につきましては以上でございます。

【生涯学習課長】生涯学習課に係る部分について御説明させていただきます。18ページをお願いいたします。月例報告については記載のとおりとなっております。1月の予定でございますが、先ほど御報告させていただいたとおり、1月9日に令和4年富里市成人式を執り行う予定でございます。続きまして19ページをお願いします。16日の木曜日に富里スイカロードレース大会の実行委員会事務局プロジェクトチーム会議を開催しました。スイカロードレース大会につきましては今年、昨年と2大会連続で中止となっておりますが、来年につきましては市制20周年ということもございまして、コロナ対策を十分講じた上で大会を開催したいということで、準備を行っているところでございます。続きまして1月の予定でございますが、まず10日に記載されております第35回のスポーツ少年団駅伝大会につきましては、残念ながら中止ということとなっております。13日は富里スイカロードレース大会実行委員会事務局会議を予定しております。なお最終的にスイカロードレース大会の実施内容等につきましては、1月中に実行委員会議を行いまして2月には皆さんに御案内をさせていただきたいと考えております。

【図書館長】図書館からの月例報告でございます。2段目にございます土曜おはなし会は8名の参加者がありました。3段目の水曜映画会につきましては午前、午後での開催をしております。合わせて50名の参加がございました。また18日に行われました冬のおはなし会も2回の開催とさせていただきます。26名の参加となっております。1月の予定といたしましては4つの行事を予定しております。多くの方の参加が得られるよう周知に努めるとともに、コロナ対策を万全にとって実施していきたいと考えております。

【教育長】事務局から報告がありました。質疑などがございましたらお願いします。

【委員】残食率の調査ということで、小学校で平均12パーセント、中学校で平均9パーセントとなっておりますが、センターのデータですと小学校全体で13パーセントで、差異が大きすぎるように思うのですが。それから、以前残菜率が高いところと、生活習慣病予備軍の関連性を指摘していただきましたが、まだ11月のデータだけですが残食率でもその傾向があるのかどうか。それから、私は残食率、残菜率が少なくなれば

いいなというところから、今まで指摘してきましたが、健康面を考えたときに残菜率、残食率が低いのはいいのですが、食全体を考えたときに、子どもたちが朝食をきちんと摂っているのか、食べていないために昼にたくさん食べていたら、健康面では問題だと思いますし、そういった調査を検討していただければと思います。

【新井指導主事】残食率の数値の違いにつきましては、このあと給食センターに確認をさせていただきます。11月の残食率のデータと健康に関するものの関連ですが、因果関係については調査中でございます。朝食に関するご質問ですが、おっしゃるとおり給食だけでは十分な健康を保てませんので、今後、小中学校において朝食がしっかり摂れているかも含めて、朝食と給食、もちろん夕食も含めた食育を進めてまいりたいと考えております。

【委員】調査結果を拝見して、非常に具体的に調査をしていただいて、これから子供たちの肥満、生活習慣病の予防を学校給食を通してしていただけるということで、非常にありがたいと思えました。具体的な手立ても示して下さっているのです、是非学校の現場でこれが確実に実践できるようにお願いしたいと思います。合わせて生活習慣病については学校給食を通してだけでなく、保護者への働きかけもしていただけたらありがたいと思います。おそらく生活の乱れもあると思いますので、保護者にも問題意識を持っていただくことが必要だと思いますのでお願いします。

【委員】私もお願いになりますが、11月の残菜率、残食率から、欠席率を推計すると全体で5パーセントぐらいでしたが、A学校は1割ぐらいとかなり高い欠席率だと推定できます。実際の欠席率を参事にお聞きしましたらほぼ違いはありませんでした。〇〇委員からもありましたが生活の乱れとか、健康面、学習に対する取り組み方に影響があるかと思えます。総合的、継続的な調査をお願いしたいと思います。

【教育長】その他何かございますか。

(ない旨の声あり)

【教育長】特にないようですので、報告事項6を終わりにします。

8 その他

【教育長】次に、その他に移ります。その他として、ございましたらお願いします。

【委員】新型コロナウイルスの感染が拡大して、もう2年近くになりますが、今もコロナの対応として具合が悪かったり、具合の悪い家族がいる

場合、学校を欠席しても欠席扱いにならないという対応をとっていると思います。そういった対応によって欠席者が長欠ですとか、不登校に発展してしまう懸念はないのか心配しているところです。子どもたちの状況は、学校でしっかり把握していると思いますが、やはり心配なお子さんが何名かいるのでしたら、早め早めに対応していかないと、日常が戻った時に大変になってしまうのではないかと思うのですが、その辺の状況を教えていただきたいです。

【参事兼学校教育課長】感染症予防に関して、出席停止の影響ということで、お配りした資料の3枚目を御覧ください。これが先月11月の各校の欠席状況でございます。下の欄を見ていただくと、Aが出席停止も病欠も事故欠も、全部一緒にした休んだ子の人数になります。これを見ますと、先ほど〇〇委員から御指摘のあったように、A学校が10パーセント、毎日70人ぐらいが休んでいる、非常によろしくない状態です。その下が感染症予防の可能性があって欠席した子ども。B学校で言うと全部で休んでいる6パーセントのうち1.8パーセントが感染症予防で休みました。残りの4.2パーセントが純粹に病気や事故欠、この中に長欠の子も含まれています。さらに後ろの紙を見ていただくと令和3年11月と令和元年度11月の各校の15日以上欠席した児童生徒数の比較を載せてあります。令和元年度11月はまだコロナの感染がありませんでしたので、通常の運営をしていた頃と比較したものです。これを見ていきますと、〇〇委員の御指摘のとおり休みが増えてしまっているのはA学校と、B学校の2校です。残りの8校については、出席停止になることによって休み癖、長欠が増えるのではないかという心配があったのですが、あまり増減は見られませんでした。適切かわかりませんが、長期欠席を問題としてとらえるならば、問題を抱えている学校は影響を受けやすいということがわかります。ただ影響を受けない学校もあるということで、学校の傾向が見えていますので、それなりの対応、先ほどご指摘があったように、大事になる前に早め早めにということで対応が必要なのだろうなと思います。ちなみにこの中で言いますと、A学校が非常に欠席が多いのですが、県でも不登校生徒が多い学校と認識していて、県費で一人不登校支援ということで加配をいただいて、職員が子供に声掛けなどをして対応にあたっているのですが、人数が多くて正直賄いきれないところです。ただ、問題は問題として、これはまずいなということがみんな分かって、できる限りの対応を続けているのですが、なかなかはっきりした成果が表せないというのが現状です。以上です。

【教育長】少しびっくりしてしまう数字が出ているのですが、今後どうやって解消していくか、全国的な課題として浮かび上がっているという状況です。今、参事が申し上げたように、やはり問題を抱えている子どもが多いところなのだと思います。今までであればさほど影響がなかったのかもしれませんが、コロナで急激にというところなのだと思います。国でもかなり問題視しておりまして、検討を始めたという報道もありました。県でも当然やっていると思いますけれども、市でも具体的な案はないのですが、どうしていくのかというところなんです。ほかに何かございますか。

(ない旨の声あり)

【教育長】特にないようですので、その他を終わりにします。

次に非公開案件に入ります。

(非公開)

【教育長】ここで非公開を解きます。

9 閉会宣言

【教育長】それでは、本日の日程は全部終了しました。

令和3年度第10回富里市教育委員会定例会議を閉会します。